

はや、あか
早く、赤ちゃんが
う産まれないかなあ～

ずっと
ついてて
あげたいな～



ムース先生、
どうなのかな？

そういえば…わたしのお家は、
あか
赤ちゃんにも
きもちよくすごせる
やさしい家なのかな？

スウェディちゃんの
なぜ？
なに？ どうして？
教えて
ムース先生！



Vol.12
気密性能編

スウェディちゃんは、
スウェーデンハウスに暮らす女の子。
好奇心旺盛なスウェディちゃんの周りには
なぜ？なに？どうして？が、たくさん。
きょうも不思議を見つけたようです。

わたし、もうすぐ
お姉さんにな
るんだ。



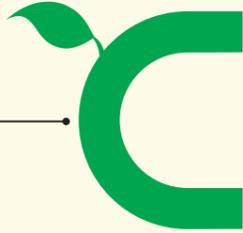


スウェーデンハウスには
建物の性能を数値で表示する
独自のCQ24+U
(全棟高性能保証表示システム)
というシステムがあるんだ。
これらの値は
家の快適さの物差しになるよ。

C値

=相当隙間面積=0.63cm²/m²*

家に隙間がどれくらいあるかの気密性能を示す数値で、値が小さいほど高气密です。



Q値

実際の暮らしの快適さと省エネ性能を含めた断熱性能の指標で、値が小さいほど高断熱です。



24時間熱交換型換気システム

家全体の空気を2時間に1回入れ替えるように設計。排気する空気の温度や湿度を回収し、給気時に室内に戻すことで、快適な温度を保ちます。屋外のチリやホコリ、花粉はもちろん、PM2.5の侵入も抑えます。



U値

=外皮平均熱貫流率=0.38W/m²・K*

床・外壁・窓・屋根など外部と接する部分(外皮)がどれだけ熱を通すかを示す数値。値が小さいほど高断熱です。

全棟高性能保証表示システム

このシステムは、
スウェーデンハウスが
2000年8月に他のメーカーに先駆けて
日本で初めて
スタートさせたんだよ。

*スウェーデンハウスの2018年度の全国平均値

空気質のために必要な気密性能

気密性能が低いと、家中の空気の流れをコントロールすることができなくなるんだ。隙間から勝手に空気が出入りしてしまうし、新鮮な空気を送り込んでも、一番近くの隙間から抜けてしまっ、すみずみまで空気を入れ替えることができない。だからね、隙間がとっても少ないこと=高い気密性能は、家全体の空気質を保つためにも欠かせないんだ。(178号「空気環境編」参照)

大人
体重1kgあたり
0.3m³/日

子ども
体重1kgあたり
0.6m³/日

[1日の呼吸量]

子どもは体が小さいけれど、
体重1kgあたりの空気摂取量は大人の2倍。
だから、空気質にこだわる
ことが大切なんだよ。

出典：東京都福祉保健局「化学物質
の子供ガイドライン(室内空気編)」

空気きれいなら、
赤ちゃんにも安心！
よかった。

ムース先生のおはなし

気密性能があればこそ、断熱効果を確実に発揮させ、計画換気によって室内の空気環境をベストの状態に維持することができます。スウェーデンハウスは、創業当初より気密性能と断熱性能の両方にこだわり、計画換気を標準装備。赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが快適で安心して過ごせる快適性能を追求しています。

おとうさん、おかあさんへ

「気密性能」に関する情報は、174号・175号・177号・179号のテクノロジーでもご紹介しています。またスウェーデンハウスのテクノロジーカタログもご用意しています。



スウェーデンちゃんのお家は、
赤ちゃんからお年寄りまで
みんなが一年中、
気持ちよく
安心して過ごせる
快適性能
を備えているんだよ。

気密なくして快適なし

スウェーデンハウスは魔法瓶のように、暖かさや涼しさを長時間キープすることが得意な家だって話(175号)は覚えているかな？実はどの季節でも、快適な室内環境を保つためには、3つの要素が必要なんだ。①高い気密性能=隙間がとっても少ないこと。②高い断熱性能=分厚い断熱材で包み込んで外の温度を室内に伝えないこと。③24時間の計画換気=室内の空気をしっかりと入れ替えることだよ。中でも①気密性能は他の要素(②と③)の働きにも関係する要の性能なんだ。

もし、隙間だらけの家だったらどうなると思う？外の寒さや暑さが部屋の中に入ってくるし、せっかく冷暖房しても、その空気は外に出ていってしまうよ。隙間から入ってくるのは熱だけじゃない。音や湿気・埃・花粉の通り道にもなるんだよ。

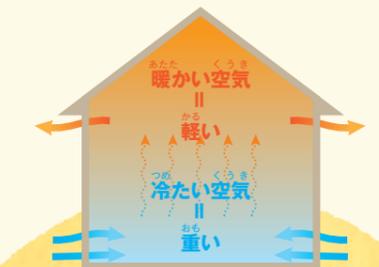
気密性が高いと、
外が騒がしくても、
お家の中は静かなんだ。
夜泣きしても、外に音が漏れにくいから
パパやママも安心だね。

赤ちゃんも
ぐっすり眠れるね！

わたしの家は
足元も暖かいから
ハイハイする赤ちゃんも
寒くないね！

快適性能のためには、
①気密性能②断熱性能、③計画換気
3つが大切なんだ。今回は
どうして気密性能が必要か、
どうして隙間がない方が
いいのかって
話をしよう。

[隙間が多い家の場合]



隙間だらけの家の場合
冬、暖房で暖められた空気は
軽いために、上へ移動し、
隙間からどんどん抜けてしまう。
そしてその埋め合わせで、
冷たくて重い空気が隙間から入ってくる。
だからどんなに暖房しても、
いつまでも暖まらないよ。



[スウェーデンハウスの場合]